

# 一心

題字 理事長 日野 泰介

## 一般社団法人 安来青年会議所 広報誌ふれあい



### 始めに

我々青年会議所は「まちづくり」「青少年育成」を通じて、よりよい社会の実現を目指し、地域に根差した運動を行っています。また、己の成長をもつて地域を発展させることという理念の元、会員自らの資質向上、即ち地域のリーダーとなる「人財」の育成にも力を入れています。そして、運動を通じてより魅力ある安来というまちを築いていくためには、市民と共に魅力あるまちを創造し、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という住民が主役の自立した安来を形にすることが必要不可欠だと考えます。そこで、我々が住む安来を思う心の共有こそが、主体性あるまちづくりの基礎となることを意思統一するために二〇一八年度安来青年会議所はスローガンを「一心」と致しました。この言葉には、心を一つ

新年、あけましておめでとうございます。  
私は二〇一八年度一般社団法人安来青年会議所第五十二代理事長を努めさせていただきます日野泰介と申します。  
一般社団法人安来青年会議所の運動に対しまして平素より格別のご高配戴きありがとうござります。本年度も変わりませぬ、ご理解とご支援賜りますようよろしくお願ひ致します。

### 安来市民の皆様へ



2018年度  
第52代理事長  
**日野 泰介**  
まるいち  
木工代表入会  
2009年

# 戌

### 若者が集うまち 安来

我々の住む安来では人口減少による過疎化の問題を抱える一方、各地には経済発展をもたらす魅力のある自然や文化、観光、産業といった地域資源が豊富にある地域です。

過疎化の問題の中でも特に若者の県外流出は顕著であり、若者をいかに地域に根付かせるかが人口問題からみて安来の将来を考える際には欠かせません。もちろん進学のため一時的に安来を離れる場合も多くありますが、安来に住みたい、戻ってきたいと考える若者がいなければ県外流出は止まらず、安来の魅力が未来に繋がることなく途絶えてしまう恐れがあると考えます。

そこで、我々青年会議所は責任世代として、若者がいま何を考えてどのような期待や不安を抱えているのかとということに寄り添い、その若者の思いを全世代において共有し、まちづくりに反映することで、一人でも多くの若者たちに安来を好きになつてもらうことを目指します。また、若者の価値観が多様化し、「田舎暮らし」や「自分の幸せ」を求める若者に対しても独

にする、一つの事に集中するという意味があります。メンバーが同じ目的で心を一つに一丸となり安来の未来に向けて価値ある事業を開いていくことで市民一人ひとりが心を一つに自分の住むまちと積極的に関わる、安来をより良くすることにつなげていきます。

自の創意工夫をもつて、安来の魅力を発信しこのまちに「住みたい」「行つてみたい」と思つてもらえる人を増やすことも重要です。

さらに地域内外の人と人が繋がり若者が活発に交流することのできる新たな魅力を生み出し安来の魅力を輝かせる事業を開するとともに、市内外に広く発信し交流人口の拡大を目指します。若者が集うまち安来の創造のために必要となる魅力を創出し発信していきます。

## 健全な青少年の育成

これから築く未来において地域を担つていくのは今の子どもたちであり、子どもたちはまさに地域の未来そのものです。しかし、今の子どもたちはテレビゲームや携帯ゲームの普及により「個」になる機会が増え、それに伴い親子間での会話の減少を招き、さらには、地域での世代を越えた交流の減少など「個」で遊ぶことが多くなった結果、さらに「個」が孤立することで周囲に思いやりを持てなくなり、思いやりを持てない子どもたちは、ますます周囲への繋がりが持てなくなつていると考えます。

我々の青少年期においては、自分たちの住む地域で体験した楽しい思い出や、その中で生まれる、人との繋がりを得られる機会が多くあり、そこで相手を慮る精神を学びました。この様な環境は思いやりの心を高め、子どもたちにとって大きな糧となり、今後の健全な成長に繋がると考えます。また、子ども同士で遊び合い、世代交流をすることと、相手に対し思いやりの心を持つてもらうことにつながります。

このように健全な青少年を育成するためには地域に根差す我々青年会議所は、子どもたちを対象とする運動に地域の多くの人たちを巻き込まなければなりません。

思いやりに対する大人たちの見識を高め、さらには地域全体で思いやり溢れる健全な青少年の育成を行うことで、我々大人たちにとつても成長につながり、心豊かな地域社会を構築していきます。

## 次代を担う人財への成長

我々青年会議所は、数あるまちづくり団体の中でも、十分な検討と準備を重ねた上で計画を実践する団体であることに大きな存在価値があります。仮に我々青年会議所が、机上で夢を語るだけで実際に何も行動を起こさないのであれば、それは存在価値を失うことになります。我々青年会議所は共に運動を展開する仲間たちと、夢を持ち、若きエネルギーを存分なく發揮し、自分の五感でよく見聞きし、具体的な計画をしっかりと掘り下げて検討し、仲間と共に目的に向かって行動することができる「人財」へと成長するための団体であり、その成長を地域のリーダーとして地域社会に寄与することが求められています。

そこで我々青年会議所は、青年会議所の魅力を感じられる様々な活動や運動を通じてリーダーシップを学ぶと共に、メンバー同士や青年諸団体、その他の様々な団体との交流、連携を通じて相互の強い絆を生み出し、次代への「人財」に成長していくことができる機会を創出します。もちろん、運動を牽引する立場にあるリーダーの研鑽も大きな課題です。リーダー自身が、経験の浅いメンバーに対して助言や指導をしつかり伝えられているのかを自問自答すること、事業の構想を練り具体的な形にしていく手法を組織全体として確立すること、このまちの未来をより良いものにしたいという情熱や理想を言葉で伝えていくことが必要となります。メンバー各々がお互いに研鑽に励むことにより、次代を

担う人財への成長へと繋げ、組織全体がより強固で光り輝くものとなる一年を目指します。

## 会員拡大は人との出会い

我々青年会議所は、なぜ会員の拡大をしなければならないのでしょうか。青年会議所の使命は、二〇歳から四〇歳までの青年世代がメンバーとして「明るい豊かな青年会」の構築を目指した運動をしていくことです。この四〇歳までの年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となつておなり、この制約があるからこそ、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献ができるのだと思います。

現在、安来青年会議所においては全盛期に比べ会員の減少が進んでいます。このままで組織存続や維持を目的とした議論ばかりが議題に上がり、本来あるべき「まちづくり」や「青少年育成」に向けた事業に對して情熱を注ぐことが困難になる恐れがあります。そうならないためにもメンバー一人ひとりの会員減少に対する危機感が必要不可欠です。今年度は多くの事業に安来の若者たちにご参加いただき、まちの魅力や思いやりの心と共に勉強し共に語らうことで、今まで安来に対し情熱を持てていなかつた若者たちにも安来に興味を持つてもらうと同時に、まちに对する熱い思いを呼び起してもらひ、一人でも多くの若者と今後の安来の未来に向けて共に運動ができるよう、仲間を増やしていきたいと思います。

会員拡大は人との出会いであり、青年会議所の根幹をなすものです。一人でも多くの情熱を持った若者たちと出会い、若い我らが手を取り合うことで、社会を変える力強い運動が展開できます。人やまちを惹き

## 結びに

青年会議所は「最後の学び舎」とも呼ばれ、一人の大人として、地域のリーダーとして様々な成長の機会を与えてくれます。青年会議所でしか経験できない活動や運動、青年会議所でしか体験する事ができない機会に積極的に参加する事により、自分自身の成長につながり、自分の住むまちの発展に貢献する事になります。だからこそ、何事にも失敗を恐れず、自分の可能性を信じて青年会議所運動を仲間と共に同じ目標に向かって「一心」に取り組み、市民と共に魅力あるまちを創造していきます。

二〇一八年度、この所信の下に一般社団法人安来青年会議所 第52代理事長としての責を全うすると共に、一年後、誰よりも成長した自分に期待し、その何年後かにこの経験があつたからこそ今があると言えるように、二〇一八年度をメンバー全員が心を一つに全力でやり遂げることをお約束致します。すべては明るい豊かな安来の未来のために。皆様におかれましては今までと変わりませぬご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



# まちづくり推進委員会

二〇一八年度一般社団法人  
安来青年会議所まちづくり  
推進委員会委員長を務めさせて  
いただきます。

現在、安来には豊富な地  
域資源があり、それらを活  
用したまちづくりが行われ  
ています。まちづくりには若  
者の力が必要不可欠であり、  
今後も安来のさらなる発展  
を目指すために、また豊富  
な地域資源を未来へと繋げ  
ていくために、次代の担い手  
となる若者の地元への定着を  
図る必要があると考えます。

そこで私たちは、若者が  
集うまち安來の創造を目的  
とし、将来の安来に対しても  
不安を感じている若者や、  
進学や就職等で県外に出よ  
うと考えている若者、市外  
から移住してきた若者に、  
今安来に対して感じている魅  
力や抱えている不安について  
考え、言葉にしてもらひ自  
分自身で発してもらいます。

委員会メンバー全員で若者  
が集うまち安來の創造に向  
け、心一つに、魅力を創出  
し発信していきますので、ど  
うぞ一年間よろしくお願ひ  
致します。

二〇一八年度一般社団法人  
安来青年会議所まちづくり  
推進委員会委員長を務めさせて  
いただきます。

そしてその思いを私たちが汲  
み取り、深く掘り下げ、若  
者に共感を得てもらえるよ  
うな安来ならではの魅力を  
創出します。

そして創出された魅力を  
どのように活用すれば、若  
者の集うまち安來の創造に  
繋がるか考え、市内外へ広く  
効果的に発信していきます。

このような事業を行うこ  
とで、一人でも多くの若者  
たちに、安来のことをより  
好きになつてもらい「住みた  
い」「行つてみたい」、或いは「残  
りたい」「戻つてきたい」と思つ  
集うまち安來の創造を目的  
とし、将来の安来に対して  
不安を感じている若者や、  
進学や就職等で県外に出よ  
うと考えている若者、市外  
から移住してきた若者に、  
今安来に対して感じている魅  
力や抱えている不安について  
考え、言葉にしてもらひ自  
分自身で発してもらいます。

委員会メンバー全員で若者  
が集うまち安來の創造に向  
け、心一つに、魅力を創出  
し発信していきますので、ど  
うぞ一年間よろしくお願ひ  
致します。



JCI  
2018年度会員委員長  
宇山 賢二  
大同生命保険㈱ 山陰支社松江営業所 勤務  
2017年入会



JCI  
2018年度会員委員長  
青少年育成委員会  
前田 訓以  
マエダプラスターズ 業務主任  
2017年入会

# 青少年育成委員会

二〇一八年度一般社団法人  
安来青年会議所、青少年育  
成委員会委員長を務めさせ  
ていただきます。

今年の子どもたちは少子化  
による近所の友達の減少、  
習い事やスポーツへ取り組む  
子ども多く、友達と遊ぶ時間  
自体減少しています。さら  
に地域との関わりも減り、  
子どもたちが様々な人達と  
出逢うことにより得られる  
感性や将来への可能性を切  
り拓く機会の減少にも繋がっ  
ているものと強く感じます。  
また家庭での日常生活の何  
気ない会話や質問、疑問な  
ど子どもの話に耳を傾ける  
事で育まれる時間、心の奥  
に抱えている感情を理解す  
ることで興味を持っている事、  
悩みや問題に対しても気付く  
為の機会も親子には必要で  
あります。

安来市には青年層で組織  
された主要となる四つの団体  
が存在しており、青年会議  
所も地域を盛り上げるべく  
日々試行錯誤しながら運動  
を重ねている団体の一つで  
す。

とりわけ青年会議所が  
目的として掲げる、明るい  
豊かな社会の実現に向けた  
「地域社会及び地域住民福  
祉の向上」や「会員の連携  
と指導力の啓發」を図るべ  
く事業を企画し実施するた  
めには、自分の五感でよく見  
聞きし、考え、掘り下げて  
検討する考察力と、それを  
机上の夢で終わらせないため  
の実践力、一人では決して  
成し得ない組織力が必要と  
なります。

そこで当委員会では、会  
員が各事業を企画・展開す  
る上で基礎となる様々な  
「力」を段階的に養うための  
事業を開催します。また個  
を磨き上げるだけに留めず、  
仲間と共に目的を共有して  
一致団結するために必要と  
なる組織力を養うため、磨  
き上げた個の「力」を組織  
内外へ発信する場を設ける  
ことで実現力ある人財の育  
成を目指します。

磨き上げられた個同士が  
「己の成長をもつて地域を発  
展させる」という理念のもと、  
互いに肩を組合い一丸となっ  
て安来の未来に向けて価値  
ある事業を開催していくこ  
とで会員同士の連携を図り、  
所期の目的である地域社会・  
地域住民福祉の向上に繋が  
るよう努めて参ります。

安来青年会議所メンバーが  
心を一つにして邁進できる一  
年となるよう努力させていた  
だきますので、一年間何卒  
よろしくお願い致します。

JCI  
2018年度会員委員長  
遠藤宗一郎  
遠藤社会保険労務士事務所 勤務  
2014年入会

# 会員開発推進委員会

二〇一八年度一般社団法人  
安来青年会議所まちづくり  
推進委員会委員長を務めさせて  
いただきます。

現在、安来には豊富な地  
域資源があり、それらを活  
用したまちづくりが行われ  
ています。まちづくりには若  
者の力が必要不可欠であり、  
今後も安来のさらなる発展  
を目指すために、また豊富  
な地域資源を未来へと繋げ  
ていくために、次代の担い手  
となる若者の地元への定着を  
図る必要があると考えます。

そこで私たちは、若者が  
集うまち安來の創造を目的  
とし、将来の安来に対して  
不安を感じている若者や、  
進学や就職等で県外に出よ  
うと考えている若者、市外  
から移住してきた若者に、  
今安来に対して感じている魅  
力や抱えている不安について  
考え、言葉にしてもらひ自  
分自身で発してもらいます。

委員会メンバー全員で若者  
が集うまち安來の創造に向  
け、心一つに、魅力を創出  
し発信していきますので、ど  
うぞ一年間よろしくお願ひ  
致します。

二〇一八年度一般社団法人  
安来青年会議所会員開発  
推進委員会委員長を務めさせて  
いただきます。

そこで話し合う事により、日  
頃知ることのない一面も発見  
できるものと確信しております。  
そして、子どもたちの  
思いやりの心が家庭から地  
域へ地域から安来全体に広  
がることにより、心豊かな  
社会になり、より良い安来  
の未来を担つてくれると信じ  
ています。

私は次代を担う子どもたちに  
もたちに携わる方々や地域、  
行政と連携をとりながら、  
地域全体で安来のたからで  
ある子どもたちの成長を導  
く、心豊かな青少年の育成  
に取り組んで参ります。精  
一杯努めますので、一年間  
何卒よろしくお願い申し上  
げます。

とりわけ青年会議所が  
目的として掲げる、明るい  
豊かな社会の実現に向けた  
「地域社会及び地域住民福  
祉の向上」や「会員の連携  
と指導力の啓發」を図るべ  
く事業を企画し実施するた  
めには、自分の五感でよく見  
聞きし、考え、掘り下げて  
検討する考察力と、それを  
机上の夢で終わらせないため  
の実践力、一人では決して  
成し得ない組織力が必要と  
なります。

そこで当委員会では、会  
員が各事業を企画・展開す  
る上で基礎となる様々な  
「力」を段階的に養うための  
事業を開催します。また個  
を磨き上げるだけに留めず、  
仲間と共に目的を共有して  
一致団結するために必要と  
なる組織力を養うため、磨  
き上げた個の「力」を組織  
内外へ発信する場を設ける  
ことで実現力ある人財の育  
成を目指します。

安来青年会議所メンバーが  
心を一つにして邁進できる一  
年となるよう努力させていた  
だきますので、一年間何卒  
よろしくお願い致します。

## 新入会員所感



JCI 岩田 美菜江  
住友生命保険相互会社松江支社 勤務

昨年11月に安来青年会議所に入会しました岩田美菜江と申します。まちや子供達の為に今の私達に何ができるかを考え実行に移す事は容易ではありませんが、先輩方の後押しもあり、私もJCの一員として貢献していきたいと思い決意いたしました。子供達や多くの方々に安来の魅力を感じていただけるような活動を目指します。



JCI 伊東 寛太  
トーアレンタル株式会社 営業部長

この度、安来青年会議所に入会させていただきました伊東寛太と申します。まだまだ若輩者ではありますがJC活動を通して自分自身の成長を図り、限られた40歳までの期間を充実したものにし、諸先輩方の安来JCに対する熱い想いを受け継ぎ、次世代に伝えていければと思っておりますので今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。



JCI  
秦 靖英  
株式会社はしまや 代表取締役

昨年11月に安来青年会議所に入会しました株式会社はしまやの秦靖英と申します。経営者としては、年齢的にまだまだ未熟な私ですが、安来青年会議所を通じて、組織運営の仕方、スピーチ力などの自分自身のスキルアップを学び、そして、安来市の発展に力を注ぎたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

# 安来青年会議所って どんなところ?

# 会員募集

青年会議所は、20歳から40歳以下の青年経済人によって組織される「まちづくり」「ひとづくり」の団体です。「明るい豊かな社会」の実現を理念とし、このまちの未来を考え行動しています。

日本には青年会議所が695の地域にあり、計3万2千名あまり（2017年12月1日現在）の会員がいます。全ての会員は、40歳を超えると現役を退いてOBにならなくてはなりません。この年齢制限こそ青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動へと導いてくれます。また、青年会議所の代表である理事長をはじめとする多くの役職の任期は1年に限られています。1年ごとに様々な役職を経験することで、会員は豊富な実戦経験を積むことが出来、自己修練の成果を個々の運動にフィードバックさせていけます。

**安来青年会議所に入会しませんか?**

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所の理念にご賛同いただき、ふるさと安来のために率先して運動したい!というあなた、是非、安来青年会議所に入会してみませんか?



(一社)安来青年会議所へのお問い合わせ・質問・要望は

（一社）安來青年會議所事務局

（一社）安永青年会議所事務局 〒692-0014 〒720-0071 〒720-0071

来市飯島町1240-3 TEL0854-22-3038 FAX0854-

ic.com

対応時間:月曜日・水曜日・金曜日(9:00~16:00) 広報誌「ふれあい」についての  
ご感想、ご要望をお待ちしております。

一般社団法人 安来青年会議所  
理事長 日野 泰介  
安来市飯島町1240-3  
☎ 22-3038  
編集 青少年育成委員会  
編集長 前田訓以

まるいち木工  
（有）中田建設  
（株）木下工務店  
（有）山陰UP販売  
（有）増本土建  
（有）丸和運輸  
遠藤社会保険労務士事務所  
山陰酸素工業株  
マエダプラスティーズ  
D-アシスト

「ふれあい新年号」は左記の皆様のご協賛をいただき、発行いたしました。

理事長	日野 泰介
直前理事長	中田 康太
副理事長	浅野 周作
副理事長	大和 晃介
副理事長	木下 淳
専務理事	増本 康志
監事	渡部 俊介
青少年育成委員会	前田 調以
まちづくり推進委員会	宇山 賢一 委員長
会員開発推進委員会	遠藤 宗一郎 委員長